



## 子ども虐待への関わり—看護職にできること

家族支援看護学領域 小児看護学分野 檜木野裕美

卒業生・修了生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか？日本の各地、海外在住の方もおられるのではないかと思っています。それぞれの地で多くの方が看護職として活動されていることと思います。今、2021年12月末、大阪で「オミクロン株」の市中感染が確認された初めてのケースと報道され、年末を迎えてオミクロン株の流行が心配されています。

2020年、2021年は、COVID-19による複数回にわたる緊急事態宣言の発出、医療の逼迫、オリンピックの延期と1年後の開催、ワクチン接種、いろいろな行事の中止、オンラインによる授業、テレワーク、3密を避けマスク着用の日常生活、職を失うことも、等々を経験しました。普段の生活が当たり前ではなかったことへの気づき、感謝、人との繋がりにも考えることが多かったと思います。特に医療機関、保健機関や福祉機関等でご勤務されている皆様には、言葉には表せない大変なご苦労があったのではないかと思います。何とか感染が広がらないことを願いながら、前を向き新しい生活のあり様を模索しなければなりません。

さて、私が、長年関わってきた子ども虐待についてお話しします。18歳未満の子どもへの虐待は、統計開始以来、30年連続で増加し続け、2020年度は過去最多205,029件になったと厚生労働省は公表しました。千葉県や東京都等での痛ましい虐待死亡事件を受けて、法改正を含めて子ども虐待への対応強化が図られています。その後、摂津市の事件と続いています。私が子ども虐待に関わり始めたのは、昭和の時代にまで遡ります。医療現場で出会った凍てついた眼差しの乳児、抱き上げても身を委ねてこない棒のような身体の感触は何年経っても忘れられません。大阪府が実施した医療・保健・福祉等の多機関に渡る全国最初の調査の分析に関わらせていただき、子どもの身に何が起きているのか、どんな要因があるのか等を必死でデータを分析し、勉強会にも参加しました。当時、虐待を受けた子どものケアに関する調査を医療機関に依頼した際、「子どもを虐待する親がいるわけがない、そんな調査には協力できない」と厳しく断られる一方で、「虐待されている子どもにどんなケアをしたらいいのか、是非明らかにしてほしい、できる限り協力する」と受けて頂いたり、対応はさまざまでした。その頃から考えると子ども虐待への社会的認知は相当高まっていると思います。

子ども虐待への対応は、子どもが生まれてからでは遅いのです。また虐待する親の多くが、誰にも相談できず一人で悩み苦しんだ結果、子どもの虐待に至っています。虐待する親、子どもの泣き声から虐待しているとみられた親も助けを求めています。子育て世代包括支援センターでは妊娠期から子育て期までの相談支援に取り組みられていますし、より身近なところで支援をする市区町村子ども家庭総合支援拠点も設置されています。では、看護職はどのように関わるのでしょうか。子ども虐待発生予防として、親予備軍の人への支援、子育て教育、子育て支援として育児不安や親の孤立化の防止、養育者のサポート、ハイリスクの家庭への支援、常にアンテナを立てて虐待の早期発見をすること、虐待している親の在宅での援助、被虐待児への心身のケアとして、被虐待児が安心・安全感を培えるためのケア、地域で生きる力をつけるケアなど、子ども虐待の予防、早期発見、対応、また医療機関、福祉機関や地域においても関われるのです。さらに、ヤングケアラーが抱える問題も、虐待やネグレクト等、子どもの人権侵害と重複する場合もあり、別の問題ではありません。本来、子育ては地域社会や家族の中で学習していくものですが、現代社会では親が安定して子育てをしていくには社会資源の投入が必要です。その社会資源に看護職はなりうると思っています。人のライフサイクルのすべてに関わっている看護職だからこそできることは多いのです。また子ども虐待の対応には他機関・他職種の連携も必須です。子ども虐待は、社会全体で取り組むべき重要な課題ですが、看護職間・他職種間の連携を取りながら、人が人権を守られて健やかに育つ・育てられる支援を具体化していく必要があります。

最後になりましたが、2022年4月にはいよいよ大阪公立大学が誕生します。大規模な大学になるようですが発展を願っています。また皆様のご健康、ご活躍を祈念しております。





## 会長挨拶

看護学部6期生・  
大学院博士前期課程13期生 浅井 克仁

同窓生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。依然として新型コロナウイルスの影響が続いていますが、感染予防対策の徹底やワクチンの普及、治療薬の開発などにより、一時と比べると落ち着いてきているように思います。医療関係でご尽力いただいております同窓生の皆さまには、心より御礼申し上げます。今後は必要な対策を講じながら、これまでの活動も再開していきたいところかと存じます。

さて、今年度は9月に第17回総会をオンラインで開催しました。総会では、看護職のキャリア形成をテーマに基調講演と教育セミナーを企画しました。基調講演では大阪府立看護大学の卒業生であり、聖路加国際大学で教鞭を執られている下田佳奈先生にお話しいただきました。下田先生の海外での活動や研究・教育実践などのお話は大変興味深く、日々の看護活動や研究活動への意欲が高まり、看護職の可能性を感じることができました。教育セミナーでは、ワークライフ・コンサルタントとしてご活躍されているパク・スックチャ先生から、アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）についてお話しいただきました。何気ない日

常に無意識の偏見があふれており、それを意識することがお互いを受け入れあう社会に必要であると学びました。お二人の先生方に改めて御礼申し上げます。当日参加ができなかった会員に向け、総会後にはオンデマンド配信も行いました。オンラインでの総会開催は初めての試みであり、苦勞も多々ありましたが、新たな同窓会の活動方法を見出したように思います。

また、大学統合にむけた活動も本格化しており、来年度には新大学の看護同窓会が設立される予定です。現在、大阪市立大学との協議を重ね、新大学同窓会の会則や予算案、事業内容などを作成し、新大学の学生の受け皿を準備しております。完全統合までの期間は、白鳥会と新大学の看護同窓会が並列で活動を行いつつ、今後の同窓会の在り方を検討していきます。新たな大学の誕生に期待が高まる一方で、自分たちの母校が統合され、寂しい気持ちを抱かれることもあるかと存じます。大学統合に伴い、自分の母校という気持ちが薄れてしまうかもしれませんが、新たな同窓会を築いていくためには、同窓生の皆さまのお力添えが不可欠でございます。今後も同窓生や在学生の皆さまの憩いの場とできるよう尽力いたしますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。



## 顧問挨拶



感謝の気持ちを込めて

教授 杉本 吉恵

2020年1月に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者が日本で見つかるといいう間に全国的に感染者数が増加し、重症患者数の増加による医療ひっ迫、死者数の増加を経験しました。

この2年間、医療機関ではCOVID-19患者の看護、保健所では疫学調査等で多くの同窓生が日々奮闘されておりました。COVID-19の感染のリスクに恐怖を感じながらも看護職であるという使命から目の前の患者の看護に勇敢に対応しておられました。一方で国民にも未知のCOVID-19に対しての恐怖や不安が強く、医療従事者への偏見も強くなっていました。看護活動に従事するときの感染の恐怖・不安、国民からの偏見という二重の苦しみを抱えながらも、困難に立ち向かい立派に責務を果たしておられました。私も看護職ですが同じように対応できるか自信がありません。看護職の皆様には本当に感謝の気持ちと尊敬の念しかありません。今後、同窓会で、同窓生の皆様がどのような体験をしてこられたかを共有させていただきたいと思ひます。

COVID-19の感染拡大はまだ続きそうですが、今後はワクチン接種や治療薬も準備できそうです。もうひと踏ん張りです。皆様のご健勝をお祈りしております。



## 2021年度に就任された先生からのご挨拶



着任の挨拶

生活支援看護学領域  
精神看護分野

准教授 奥野 裕子

2021年4月1日付で、大阪府立大学大学院看護学研究科生活支援看護学領域精神看護分野の准教授を拜命致しました。私は、2010年に大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程を終えた後、本年3月までのしばらくの間、看護学科というところから離れ、同大学大学院連合小児発達学研究科において、発達障害等を持つ子どもに関する臨床、教育や研究に携わってきました。ですので、少々慣れるのに時間が必要ですが、この度の学生さんや先生方との出会いを大切に、看護教育や研究に尽力できればと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

当該精神看護領域の教育においては、看護師としての患者との信頼関係の構築をベースに、患者が精神疾患を持ちながらも自分らしい人生を送ることができるように、患者また家族等、その周りの人たちのより良い生活への支援につなげるため精神看護領域における諸理論や実践を科学的に追求しつつ、精神看護の実践を探索する方法を学生に教育していきたいと考えております。臨床においては、看護師自身の精神面の健康が問われるところでもあるため、学生には看護師として確りとした枠組みをもって患者と接しながらも患者やその家族とのコミュニケーションをより良く図ること、日々の患者との関係性の中で自己と他者の感情に気づける感情リテラシーを鍛えること、加えて自身の看護を日々見直しながら患者像を掘り下げ看護の実践力を養っていくことなどを共に議論していきたいと考えております。研究においては、これまで実施してきた発達障害やこころの問題をもつ子ども、また家族支援の研究の経験をもとに、今後は幅広い対象に向けて研究の可能性を広げていきたいと考えております。

白鳥会の皆様には、今後ともご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

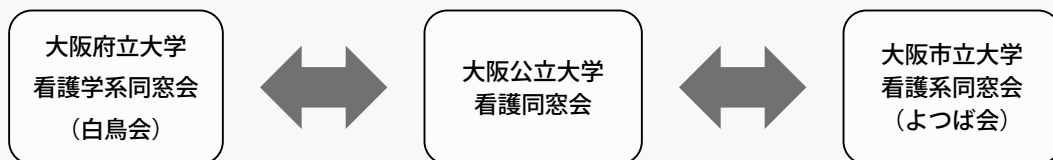
# 大阪公立大学看護同窓会立ち上げのご報告



事務局長 山口舞子

白鳥会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。先日の第17回同窓会総会でもご報告いたしましたが、2022年4月に大阪公立大学が開設されることに伴い、2022年4月に大阪公立大学看護学部同窓会も新たに立ち上がることが2021年12月に決定いたしました。ここに至るまでに大阪市立大学看護系同窓会（よつば会）さんと、どういう形で大阪公立大学看護学部看護学科1期生をお迎えするか建設的に話し合いを重ねてきました。まだまだ課題はたくさんありますが、これからを担う新しい学生さんたちを白鳥会・よつば会ともに支えていければと考えております。大学名は変わりますが、皆様の後輩として温かく見守っていただけますと幸いです。

さて、白鳥会は2021年度入学生が卒業する2025年3月末までは存続しますが、2025年4月までに白鳥会は単独での活動を存続するか、大阪公立大学看護同窓会と合流するかを最終的に決めることが求められます。大学や同窓会へ色々な思いがあるかと思しますので、ぜひご意見をホームページよりお聞かせください。また、同窓会に開催してほしいセミナーテーマ等もあれば、ぜひリクエストをお願いします。今後とも同窓会をよろしくお願いたします。



2022年4月～2025年3月までの組織イメージ

大阪公立大学看護同窓会設立までの経緯

日程・会議	主な審議事項 等
2021年3月25日(木) 第1回看護同窓会協議会	同窓会紹介・役員顔合わせ
2021年10月12日(火) 第2回看護同窓会協議会	組織体制・会則案の検討
2021年11月12日(金) 第3回看護同窓会協議会	設立申請書の作成、2022年度事業・予算案の作成
2021年12月3日(金) 大阪公立大学校友会 第3回準備理事会 (白鳥会：山口事務局長、 よつば会：朽木会長出席)	大阪公立大学看護同窓会が承認される。

白鳥会の協議会メンバー：浅井克仁（現会長）、喜田雅彦（現副会長）、前田一枝（元会長）、山口舞子（現事務局長）、相原ひろみ（現事務局員）

2022年4月開学

## 大阪公立大学

大阪公立大学大学院看護学研究科 博士前期・後期課程

大学院に関する情報は4月以降に大阪公立大学のホームページより情報をご確認ください。皆様をお待ちしております。

大阪公立大学ホームページ <https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/>



# メッセージ集

〔大阪府立大学看護学系同窓会 第17回同窓会総会開催時のメッセージ〕

所属	お名前（旧姓）	メッセージ
	山崎裕美子	高齢親のケアもあり、少し早いですが3月に退職しました。コロナ禍という歴史的状況の中、看護学を大きく発展させ貢献することが求められています。共にごがんばりましょう。
沖縄県立看護大学	上原 和代（井上）	オンラインでの開催ありがとうございます。遠方、業務でいつも欠席でしたので、とても楽しみです！！（1期、助産コース）
	小島 操子	卒業生・修了生の皆様！！コロナ禍の大変な中、本当に大変な事と思いますが、この職を選んだ喜び、満足感、誇らしさを胸一杯にがんばっておられる事と思います！！心から応援しています！！小島（旧看護大学学長）
	青山ヒフミ	本年3月に甲南女子大学を退職、住民活動（シニアの健康づくり）やワクチン接種のお手伝いをしています。白鳥会や皆様のますますのご発展を！
関西医科大学	大川 聡子	コロナ禍の中、医療・保健の最前線で頑張っておられる皆さん、本当にお疲れさまです。私も保健所の支援に行かせていただいた際、卒業生に「先生が来てくれるなんて！」と声をかけていただきました。私たち教員も一緒に頑張っていますよ。どうぞお身体に気をつけて。
武庫川女子大学	和泉 京子	いつもご案内をいただきありがとうございます。
	末原紀美代	ご案内ありがとうございます。コロナが収束し皆様とお目もじできる日を楽しみに待っています。厳しい状況でご尽力下さっておられるのでしょうか。感謝しています。
	町浦美智子	コロナ禍により医療職者の皆さまが目の前にある生命を助けることに一生懸命に取り組んでおられることに感謝の言葉しかありません。どうぞご自身の心身の健康にもご留意ください。
	北川未幾子	健康に留意し、毎日楽しく過ごして欲しいです。
看護教育学分野	細田 泰子	皆様、いかがお過ごしでしょうか。看護教育学分野の細田泰子です。同窓会のご案内をいただき、ありがとうございました。当日は所用があり、会に出席することができず、大変残念に思っております。保健、医療、福祉施設にお勤めの皆様には、コロナ禍が長引く中、感染予防に努めつつ、現場のケアの責任を担っており、大きなご負担のなかで重責を果たされていることに敬意を表します。
母性看護学分野	中嶋有加里	コロナ禍の危機を看護の好機と受けとめ、ともに学び続けましょう！
小児看護学分野	長田 暁子	先が見通せない状況のなか、気持ちも体調も揺れ動いていると思います。立場を超えた繋がりも生まれていますので、どうかみんなで支え合って過ごして行きましょう。
慢性看護学分野	籾持知恵子	本日は都合で参加できずにとっても残念です。同窓会をご準備いただいた役員の方々、本当にありがとうございます。コロナ禍の状況において各施設で実践、教育、研究を行っている皆様はとともたいへんな状況に直面しながらもそれぞれの立場で頑張っていられることと思います。こんな時でも府立大学での得た力、ネットワークを生かしながら、自分の力を信じて前に進んでくださることを願っております。来年は新大学の開学となりますが、白鳥会の皆様の思いは様々な形で新大学へと引き継がれることと思います。皆様の益々のご活躍をお祈りするとともに、今後も様々な形でともに学び、活動できることを楽しみにしております。
	久保田慶子（米田）	皆様のご活躍をお祈りしています。
	森川 香織（村上）	第一線で活躍されている先輩方、同期生、後輩の皆様を尊敬しています！
	竹尾恵理子（松本）	コロナ対応で毎日大変ですが、皆様、今いる場所で、がんばっていきましょう！！
	降矢 亜樹（釜谷）	これからもともに看護、医療界に貢献していきましょう！
	井原 三智	コロナ禍で大変な状況ではありますが、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。
	丹羽 満美（宮内）	最前線で働く皆様の健康を心よりお祈り申し上げます。
	石橋 瑛絵（清水）	みんなで踏ん張りましょう！
	五十嵐基世（金井）	コロナ禍で大変な時期ですが、この苦難を乗り越えましょう！
	堀口 佑	ポチポチやっています。みんなの健康を心から祈っています。
	糸 夏帆（清水）	コロナでまだまだ大変ですが、皆で協力して乗り越えましょう。
	米本 菜月	コロナで大変な状況ですが、がんばりましょう！

木村 彩	健康第一でがんばりましょう
米谷 公香	大変ですが、それぞれの進路先でがんばっていきましょう。
乙井 春音	日々お疲れ様です。お身体を大切にお過ごしください。
藤森 文乃	一日も早くコロナが終息し、また会える日まで頑張りましょう。
古谷 安紀 (井本)	コロナ禍で大変ですが、いつかこの状況は改善すると信じて乗り切りましょう。
黒田 裕子	コロナで大変ですが頑張りましょう
稲垣 範子 (能芝)	一刻も早くコロナが収束し、美味しい食事や会話を楽しめる日が戻ってきますように！
田中 順也	大変な時代ですが、力を合わせて乗り越えていきましょう！！
植村 桜 (浦田)	COVID-19が収束して、笑顔で皆様にお会いできるのを楽しみにしています。
中原絵美子 (武川)	コロナ禍も終息がまだ見えませんが、今こそアイデアを尽くして、看護を継続していきましょう！
黒木 愛弓	コロナで落ち着かない日々ですが乗り切りましょう。
古川 敦子	コロナ禍で大変な状況が続いていますが、希望をもって歩みましょう。
森 沙苗	皆様のご活躍をお聴きし、今後の自身の活力を養いたいと思っております。皆様の一層のご活躍をご期待しております。
根来佐由美	コロナが収束し皆さんにお目にかかれる日が一日もはやくくることを祈ります！
松島 美穂 (竹之内)	お世話を下さっているみなさん、いつもありがとうございます。
古川亜衣美 (鈴木)	母校が統合され、より一層大きく、新しい体制になりますが、よろしく願いたします。
毛利 貴子	皆様の益々のご活躍をお祈りしています。
笹谷真由美	皆様の御活躍をお祈りいたします。
小鉢 理恵	皆さんコロナの影響で大変な毎日だと思います。私にできることも限られていますが、皆さんと頑張っていきたいと思えます。

紙面の都合上、頂戴したメッセージの一部を掲載しております。

## 大阪府立大学看護学系同窓会(白鳥会) 令和2年度会計報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

前年度繰越	4,660,729円
収 入	1,317,745円
支 出	1,605,080円
収支差引額	-287,335円
(令和3年度へ繰り越し)	4,373,394円

### 支出の部

科 目	金 額
寄附金	700,000
研究助成金	0
総会費	0
業務委託費	829,466
会議費 (年2回実施)	0
消耗品費	0
人件費	75,000
その他 (支払手数料、式典・校友会等出席経費等)	614
合 計	1,605,080

### 収入の部

科 目	金 額
令和2年度入学者 (113名分)	
終身会費 上記以外 13名分 (@10,000×6人) (@20,000×7人)	1,317,739 <small>(※終身会費の振込み 手数料(円)を除く)</small>
総会参加費	0
その他	6
合 計	1,317,745

以上の通り会計報告致します。

令和3年3月31日

大阪府立大学看護学系同窓会(白鳥会)

会 長 浅 井 克 仁

会 計 長 野 弥 生

赤 崎 芙 美

金 山

悠

令和2年度同窓会会計の諸帳簿、書類などの監査の結果、適正に執行されていることを認めます。

大阪府立大学看護学系同窓会(白鳥会)

会計監査 山 内 加 絵

菊 川 佳 世

## 事務局からのお知らせ

### ○白鳥会のホームページをご覧ください

皆様に同窓会の活動や母校の“今”を知っていただくために、随時、情報を発信しております。ぜひホームページをご覧ください（QRコード参照）。



（白鳥会HP QRコード）

### ○住所や姓名変更のお願い

例年、会報誌や同窓会総会の案内を送付していますが、宛先不明の方が多くなっております。住所や姓を変更された方は、白鳥会HPから変更のご連絡をお願いいたします。母校の情報をお届けしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

### ○同窓会費（終身）未納の方へ

同窓会活動は、会員の納める会費で運営しています。未納の方には、年に1回この会報誌と一緒に納入のお願いの文書と振込用紙をお送りさせていただいております。ご協力よろしくをお願いいたします。

### ○翔システムをご登録ください

大阪府立大学同窓会である校友会には“翔”というネットワークシステムがあり、様々な交流・情報交換が可能です。大阪府立大学校友会HP (<http://www.opucr.osakafu-u.ac.jp>) から登録が可能です。

## 2021年度 同窓会役員の紹介

会 長：浅井克仁  
副 会 長：喜田雅彦・田中真一・横山紗永  
書 記：大泉綾亮・高島佳之・柱谷久美子  
会 計：赤崎美美・金山悠・山内加絵  
会 計 監 査：菊川佳世・長野弥生  
事 務 局 長：山口舞子  
事務局長補佐：真壁美香  
事 務 局：相原ひろみ・阿川勇太・宇田川直子・勝山愛・高知恵・中村雅美・  
野中翔太・根来佐由美・深山華織・前田一枝・真砂隆太郎・安本理抄  
新たに就任した学年幹事  
学 類：生地桃子・牧尾英里香  
院 生：金谷真美・福満美和

## 編集後記 大泉 綾亮

\*\*\*\*\*

日々、日差しが温かくなっておりますが、皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。ワクチン接種が広く行われ、1度は収まったかにみえた新型コロナウイルス感染症ですが、変異により再び猛威を振るっており、中々以前のような生活に戻らせてくれないと歯噛みしております。コロナ禍となり、ピンチはチャンスとよく聞くようになりましたが、そもそもピンチな状況になることのないような生活を送りたいと心から望んでおります。

とはいえ、まだまだ気を弛ませることのできない厳しい状況が続きます。その中でも、人々の命を守るために医療現場等で絶え間なく働いてくださっている卒業生の皆さんに心より感謝をいたします。

最後になりますが、ご多用の中、会報誌にご寄稿くださいました皆様に心から御礼申し上げます。